

新学習指導要領改訂の方向性

何ができるようになるか



新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

生きて働く
知識・技能の習得

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

社会に開かれた教育課程の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

- 小学校の外国語教育の教科化、
高校の新科目「公共」の新設など
- 各教科等で育む資質・能力を明確化し、
目標や内容を構造的に示す

※学習内容の削減は行わない

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・
ラーニング)の視点からの学習過程の改善

- 生きて働く知識・技能の習得など、
新しい時代に求められる資質・能力を育成
- 知識の量を削減せず、質の高い理解を図る
ための学習過程の質的改善

室蘭市教育研究所授業づくりグループでは、今年度の研究課題「単元・題材のまとまりを見通した学習指導の工夫・改善」に沿って、教科を小学校の算数に絞り、“新学習指導要領を踏まえた学習指導案の作成”と題して研修講座を行いました。

全体講座：
新学習指導要領
の概要説明

全体講座：
学習指導案
の作り方

小・中・高学年ブロックに
分かれて演習：
「単元の指導計画」づくり

作成した指導計画
について交流、
振り返り

同じ学年の先生方と授業案を考える
ことができ、良い経験になりました。

先輩の先生方にもたくさんアドバイスをいただ
いたので、これからの参考にしたいと思います。



子どもたちのために、これからも頑張りましょう！